

## ▼タゾシン静注用【注】&lt;製造中止&gt;

【重要度】★★ 【一般製剤名】タゾバクタムナトリウム+ピペラシリン水和物 sodium tazobactam+piperacillin hydrate 【分類】β-ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質製剤

【単位】▼1.25g/V・▼2.5g/V

【常用量】1日2.5～5g

【用法】1日2回

【透析患者への投与方法】1回1.25～2.5gを24時間おきに(5)

【保存期腎不全患者への投与方法】CLCr>50mL/min:通常用量, CLCr10～50mL/min:1回1.25～2.5gを12時間おきに, CLCr<10mL/min:1回1.25～2.5gを24時間おきに(5) 【その他の報告】CLCr10～50mL/min:常用量の75%に減量, CLCr<10mL/min:常用量の50%に減量(12)

【特徴】タゾバクタム:ピペラシリン=1:4の割合で配合され、タゾバクタムがβ-ラクタマーゼのペニシリナーゼ、セファロスポリナーゼ及びオキシミノセファロスポリナーゼ(TypeI)を強く不活性化するため、ピペラシリンがこれらの酵素によって加水分解されることを防御し、ピペラシリン耐性菌に対して抗菌力を示す。また、ピペラシリンは細菌の細胞壁合成阻害により抗菌作用を示す。

【主な副作用・毒性】ショック・アナフィラキシー様症状, SJS, TEN, 肝障害, 腎障害, 血球減少, 偽膜性大腸炎, ビタミンK欠乏症状, ビタミンB群欠乏症状など

【代謝】ヒト血漿、尿中にTAZの非活性代謝物である2-アミノ-3-メチル-3-スルフィノ-4-(1H-1, 2, 3-トリアゾール-1-イル)酪酸(M-1)及びPIPCの活性代謝物であるPIPCの脱エチル体(DeT-PIPC)が認められている(1)

【排泄】尿中排泄率はTAZが70.8%、M-1が19.4%、PIPCが69.3%、DeT-PIPCが4.5%(24hrまで)(1) 【CL】TAZ:260～355mL/min、PIPC:238～328mL/min(1)

【t1/2】TAZ:0.68～0.78hr PIPC:0.58～0.78hr(1) 【腎不全患者のt1/2】TAZ:CLCr40～70mL/min:1.0hr、CLCr10～40mL/min:2.2hr、CLCr<10mL/min:7.1hr; PIPC:CLCr40～70mL/min:0.9hr、CLCr10～40mL/min:1.5hr、CLCr<10mL/min:3.5hr(1)

【蛋白結合率】TAZ4%、PIPC16%(1)

【Vd】TAZ:13L/man, PIPC:13L/man(1) 糖尿病性足病変の細胞外液中へのタゾバクタムの移行性はやや低い(Legat FJ, et al: Antimicrob Agents Chemother 49:4368-4371, 2005)

【MW】TAZ:300.30、PIPC:535.57

【透析性】HD半減期TAZ1.7hr、PIPC1.5hr(1) 透析されやすい(5)

【O/W係数】TAZ:1.5×10<sup>-3</sup>、PIPC:7.1×10<sup>-2</sup>(1)

【相互作用】アミノグリコシド系抗生物質との混注不可(1)

【】

【更新日】20110425

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報は各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。